

第14回

# チャリティ ウォーク&ランフェスティバル2016

10月23日(日)、皇居およびニッポン放送イマジンスタジオにて、スペシャルオリンピックス日本・東京(SON・東京)恒例の「ウォーク&ランフェスティバル」が今年も開催されました。

曇り空ではありながら、湿度も低くウォーキングやランニングには最適な天候。支援企業から参加した32チームにSON・東京のアスリートが一人ずつ加わり、皇居一周を駅伝形式で走りました。

レースは各チームが宣言したタイムにどれくらい近づけるかを競うという方式のため、必ずしも最速のチームが優勝となるわけではありません。また、最後の走者にアスリートが一人加わることで、タイムを予想することも難しくなります。アスリートをチームメ

イトとみなし、じっくりとコミュニケーションを取り合い、チーム全体の力量を押し量ることが大切です。

レース終了後、ニッポン放送イマジンスタジオで交流会が行われました。企業からの参加者とアスリートの「チーム対抗」ジェスチャーゲームや福笑いなどで盛り上がった後、締めくくりは表彰式。優勝は、日本オーチス・エレベータ東関東営業所チームCでタイム差はわずか2秒、2位は日本オーチス・エレベータ北関東選抜でタイム差3秒、3位はJAIFA東京協会Bでタイム差8秒と、大変な激戦でした。



スタートは「桜田門」。1周約5キロを3人でたすきをつなぎます



第2区間は「竹橋」でたすきリレー



最後は「千鳥ヶ淵公園」でたすきリレー。アスリートとともに走ります

次々とランナーが桜田門に戻ってきます

2016年 W&R 成績表						
順位	エントリーNo	企業名	チーム名	宣言タイム	走破タイム	差
1	17	日本オーチス・エレベータ株式会社	東関東営業所チームC	0:31:00	0:31:02	0:00:02
2	20	日本オーチス・エレベータ株式会社	北関東選抜	0:23:21	0:23:24	0:00:03
3	10	JAIFA東京協会	JAIFA東京協会B	0:32:00	0:31:52	0:00:08
4	26	マーシュアンドマクレンナンカンパニース	MBJ	0:37:00	0:36:44	0:00:16
5	11	JAIFA東京協会	JAIFA東京協会C	0:30:00	0:28:50	0:01:10
6	1	エムサービス株式会社	チーム食べ盛り	0:30:00	0:28:35	0:01:25
7	14	東京海上日動メディカルサービス株式会社	TMS Cチーム	0:31:35	0:30:09	0:01:26
8	4	カーライル・ジャパン・エルエルシー	TCGランナーズA	0:27:00	0:25:27	0:01:33
9	16	東京消防庁	風の申し子	0:26:00	0:28:02	0:02:02
10	6	シーエグループ(株式会社クリエティアルファ)	シーエグループAチーム	0:30:00	0:32:09	0:02:09
11	9	JAIFA東京協会	JAIFA東京協会A	0:26:00	0:28:12	0:02:12
12	22	日本スターウッド・ホテル株式会社	Kokua	0:41:00	0:38:39	0:02:21
13	7	シーエグループ(株式会社クリエティアルファ)	シーエグループBチーム	0:34:00	0:36:59	0:02:59
14	5	カーライル・ジャパン・エルエルシー	TCGランナーズB	0:27:00	0:23:37	0:03:23
15	18	日本オーチス・エレベータ株式会社	マサルと走ろう会	0:33:00	0:29:20	0:03:40
16	31	リシュモンジャパン株式会社	CSランナーズ	0:30:00	0:26:15	0:03:45
17	25	マーシュアンドマクレンナンカンパニース	走りマーシュ	0:41:00	0:37:09	0:03:51
18	28	マーシュアンドマクレンナンカンパニース	ジェイミーズ	0:35:00	0:30:52	0:04:08
19	30	リシュモンジャパン株式会社	PANERAI	0:38:00	0:33:50	0:04:10
20	24	日本スターウッド・ホテル株式会社	トリプルK	0:40:00	0:35:26	0:04:34
21	21	日本オーチス・エレベータ株式会社	旭川の風	0:40:00	0:44:39	0:04:39
22	27	マーシュアンドマクレンナンカンパニース	ゆかいな仲間達♪MMC☆	0:45:00	0:40:05	0:04:55
23	29	マーシュアンドマクレンナンカンパニース	マーサーインベストメンツ!	0:55:00	0:49:27	0:05:33
24	19	日本オーチス・エレベータ株式会社	誠将延	0:39:00	0:45:18	0:06:18
25	13	東京海上日動メディカルサービス株式会社	TMS Bチーム	0:45:00	0:38:31	0:06:29
26	8	シーエグループ(株式会社クリエティアルファ)	シーエグループCチーム	0:40:00	0:32:59	0:07:01
27	23	日本スターウッド・ホテル株式会社	Starwood Proud	0:40:00	0:31:58	0:08:02
28	12	東京海上日動メディカルサービス株式会社	TMS Aチーム	0:45:00	0:36:50	0:08:10
29	3	エドワーズライフサイエンス株式会社	エドアン	0:43:00	0:33:53	0:09:07
30	15	東京海上日動メディカルサービス株式会社	TMS Dチーム	0:43:00	0:30:49	0:12:11
31	32	リシュモンジャパン カルティエ	C	0:52:00	0:35:49	0:16:11
32	2	エドワーズライフサイエンス株式会社	エドニャン	0:55:00	0:36:34	0:18:26



アスリートと参加者が手をつないでゴール!



1位は日本オーチス・エレベータと中根晃さん



スタート前に「はい、ポーズ!」



ボランティアも大活躍

協賛品は参加者とアスリートに配布



14th **チャリティ** **ウォーク&ランフェスティバル2016**



開会式・閉会式および交流会は、ニッポン放送イマジンスタジオにて。収容人数140人を超える大スタジオですが、参加人数の多さからか、室内は最初から熱気ムンムンでした。

主 催	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
主 管	スペシャルオリンピックス日本・東京ちよだ 第14回チャリティウォーク&ランフェスティバル2016実行委員会
後 援	東京都 千代田区 株式会社大塚商会 株式会社遠藤波津子美容室 株式会社大和証券グループ本社
寄 付	東京海上日動メディカルサービス株式会社 日本ウォーターシステム株式会社 日本オーチス・エレベータ株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
物 品 協 賛	アシックス労働組合 エムサービス株式会社 株式会社大塚商会 コカ・コーライストジャパン株式会社 株式会社日本ホールマーク 森永製菓株式会社 株式会社ヤナセ ライオン株式会社
協 力	東京海上日動メディカルサービス株式会社 東京消防庁



## EKSデーに2つの ユニファイド・イベント開催

スペシャルオリンピックス創設者の功績を記念する「EKS(ユニス・ケネディ・シュライバー)デー」※1に合わせ、SON・東京では今年、2つのユニファイドスポーツ※2・イベントを実施しました。



9月17日(土)

### 機能開発プログラム at 国立オリンピック記念青少年総合センター

小学校低学年のアスリート(知的障害のある人)とパートナー(知的障害のない人)が一緒になって、SON・東京のオリジナルプログラム「機能開発(MDP)」に参加。様々なゲームを通じて、ルールやマナーについて楽しく学びました。

#### ? EKSデーとは…

「知的障害のある人と共にスポーツを楽しむ」ことを通じて、社会の多様性と調和を目指す精神を世界に広めたスペシャルオリンピックス(SO)創設者ユニス・ケネディ・シュライバーの功績を記念して、SO国際本部では2010年から9月第4土曜日を「EKSデー」と定めており、世界各地でこの日に合わせて「Play Unified to Live Unified(共にスポーツし、共に生きる)」をテーマに、障害のある人となない人が共同で行う活動を展開しています。

9月24日(土)

### 半井清チャリティーボウリング at 東京ポートボウル

アスリートとパートナーが1つのレーンに入り、2ゲームトータルスコアを争うボウリング大会を行いました。金銀銅のメダルを授与するTOP3だけでなく、5位ごとの飛び賞およびブービー賞も設定。多くの参加者が共に喜び、共にたたえ合う、和気藹々とした大会になりました。

#### ? ユニファイドスポーツとは…

スペシャルオリンピックスの取り組みの一つで、ほぼ同数の障害のある人となない人がチームを作り、一緒に練習をし、試合や大会にも参加するプログラムです。障害の有無を越え、スポーツを通じて喜びや悔しさ、達成感など様々な経験を共有することにより、お互いへの理解を深め、友情を育むことを目指しており、社会的インクルージョンの実現を促進することを目標としています。

## 「インターバンク・ボウリング大会」開催

9月2日(金)の夕方、毎年恒例となった外資系金融会社が集う「インターバンク・ボウリング大会」が、高田馬場グランドボウルにて開催されました。7社から26チーム78名が参加。各チームにSON・東京のアスリートが1名ずつ加わるという形式で、チーム(レーン)ごとのトータルスコアを競い

合いました。いつもどおり各社からは事前に平均スコアを伺い、それに合わせてアスリートを配置しましたが、それでも力の差は表れます。優勝したBNPパリバ2組は2ゲームでトータル1,060点と、素晴らしいスコアとなりました。チームの1、2、3位には、それぞれ

金銀銅のメダルが授与され、個人スコアでは企業参加者(男女)、アスリート(男女)のトップが、それぞれキングとクイーンに選ばれました。  
【参加企業(50音順)】  
ウェルズ・ファアゴ、JPモルガン、シティ、ドイツ銀行グループ、バークレイズ、BNPパリバ、UBSグループ

## J.P.Morgan Markets Volunteer Day 2016 Bowling Games

9月3日(土)の午前中には、JPモルガン証券のボランティア・イベントとして開かれたボウリング大会に、アスリート42名をご招待いただきました。会場がいつもプログラムを実施している田町の東京ポートボウルということもあり、レーンに慣れたアス

リートも多く、皆思う存分力を発揮し、素晴らしい成績を収めました。また、JPモルガン証券の方々も、前日のインターバンク・ボウリングとは異なるメンバーで、アスリートと接することが初めての人ばかり。とはいえ、同

じチームメンバーとして一緒にゲームを盛り上げてくださいました。障害のある人となない人が、スポーツを通じて理解し合い、協力して暮らすインクルージョン社会が育まれる、その一助となったイベントでした。



## スポーツ de 障がい者交流会 2016

11月3日(木・祝)、今年も目黒区の主催で、地域に暮らす知的障害のある人たちとの交流イベントが開かれました。

目黒区立中央体育館で、午前中はバスケットボールの練習とペガボール※というニュースポーツの体験会、午後には卓球とバドミントン

を行い、みんなでスポーツを楽しみました。

※ペガボールは、マジック式のポンチョを着た鬼を追いかけてボールを当て、より多くのボールを鬼にくっつけたほうが勝ち。障害のある人とない人が一緒に楽しめるスポーツ。



目黒区からは低学年の人たちもたくさん参加しました

## 第11回スペシャルオリンピックス日本 関東ブロック水泳競技会

11月13日(日)、目黒区民センター屋内プールで、「第11回スペシャルオリンピックス日本 関東ブロック水泳競技会」が開催されました。

開会式には、青木英二目黒区長や北京オリンピックに出場した柴田隆一さんらが出席。柴田さんは見事な模範泳法を披露し、アスリートから大きな歓声が上がりました。

今年の競技会は、SON・東京が主管。神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・山梨のアスリートを迎え、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライなどで、日ごろの練習の成果を競いました。またユニファイドイベント「みんなでリレー」では、目黒区

民の参加者と各地区のアスリート、ファミリー、コーチなど8人が1チームを組み、25mビート板キックのリレーをおこない、交流しました。



表彰式は目黒区文化・スポーツ部長 上田広美氏にもご協力いただきました

水深が浅いため、水中スタートで行いました

### WORKING ATHLETES

## 働くアスリートたち 第28回 こんどうみずほ 近藤瑞穂さん(21歳)

「株式会社ビルケアスタッフ」(2000年設立)は、株式会社日立ビルシステムグループの特例子会社(2004年認定)で、身体・精神・知的の障害を持つ人たち52人が働いています。多くは、本社の亀有総合センター内で紙資源リサイクルや清掃の仕事に就いていますが、近藤瑞穂さんの職場は、千代田区にある日立ビルシステム東京総支社のメール室。8人の仲間とともに、同支社総務部から受託のメール便等郵便物集配送業務や共用部清掃、コピー用紙や給茶機茶葉といった備品の補充を行っています。

### ▶ 忙しいときほど、楽しく仕事をしたい

近藤さんは都立中野特別支援学校高等部を卒業後、新卒採用の第1号として入社しました。業務グループ担当部長の杉浦慎一さんは、「特別支援学校とつながりを持つきっかけになり、近藤さんに感謝している」と言います。

「ビルケアスタッフは、障害を持つ人たちに安心・安定して働ける職場を提供し続け、仕事を通して自立した社会人になることを目標にしています。職場ではスタッフが、仲間への思いやりとチームワークを大切にすることを忘れないよう、各人を指



毎日たくさん届く郵便物を、各部署宛に仕分けしています

導しています。彼女は、入社時と比べると随分変わりましたが、社会人生活が成長させたのだと思っています」

8人のまとめ役は、業務グループの増田修さんです。

「彼女には、女子ロッカーや給湯室の清掃も任せていますが、郵便物の仕分け作業が一番向いていると思いますし、楽しそうに仕事をしているという感じを受けますね」

8人のうち、女性は1人。近藤さんはてきぱきと作業を進めています。

「郵便物仕分けの仕事がいちばん好きです。間違いがないように気を付けています。仕分けや配るものが多いときは大変。でも、大変なときほど楽しんでやるようにしています。任せられる仕事なら何でもやっていきたい。これからも働いていきます」

### ▶ 大人の女性に成長してほしい

「恥ずかしいので、写真は大嫌い」という近藤さんに、上司のおふたりの間に無理に入ってもらいました。その際の増田さんの対応がやさしく、あたたかでした。増田さんは、近藤さんが落ち着いて仕事ができるように配慮しているそうです。

「入社したてのころは感情の起伏が大きく、均一に作業をすることが課題でした。今でも波は

ありますが、当初ほどではなくなり成長したなと感じています。これからは後輩に教える場面も増えますし、仕事に対する責任感と社会人としての自覚をを少しずついいから身に付けて、大人の女性として成長して行ってほしいですね」

近藤さんは、来年3月にオーストリアで行われる世界大会のショートトラックスピードスケート種目に出場します。「腰を低く、コーチに言われたとおりに注意しながら練習しています。前回の世界大会で銀メダルと銅メダルを取ったので、今度はできるかぎり頑張っ、いちばんいい色のメダルをとりたいです」

ぜひ金メダルをとってください。そして、会社で頼りにされる存在になってください。(スピードスケートとバレーボールのプログラムに参加)



近藤さんを挟んで左・杉浦さん、右・増田さん

アスリート:森本拓哉さん 母:森本由美さん

拓哉が生まれたのは1995年4月15日。双方の祖父母にとって初の、そして唯一の孫の誕生を皆が喜び、幸せに包まれました。

小学校入学までは何か他の子とは違うと思いつつも、障害について何の知識もなかった私は迷うことなく通常学級を選びました。

しかし、その選択が間違っていたと気付くのに長い時間はかかりませんでした。入学直後から連日続く担任のダメ出し。怒られることでしか存在を認めてもらえない息子は日に日に壊れていきました。1カ月経つ頃には親子共疲れ果て、息子には自己否定の感情だけが残り残りました。今でも失敗を極端に恐れるのはこの経験があるからです。

この状況を変えたいと病院を予約、7月に知的障がいと診断されました。診断されたショックよりもこれであの担任と離れられると安堵感を感じました。そして2学期からは特別支援学級に移りました。

どん底だった私たち親子にとって支援学級の先生との出会いは救いとなりました。毎日の送迎や連絡帳でのやり取りの中で、この子たちは愛している、愛されている存在なんだと実感できましたし、「スモールステップ、成功体験と生活体験を積ませる、失敗から学

ホッ プ ス テ ッ プ シ ョ ン vol.14

拓哉、大好きだよ



森本拓哉さん ●1995年生まれ、2009年SO入会。現在フロアホッケー・プログラムに参加中。お父さんの利彦さん(写真左)は、同プログラム・江東会場の主任コーチを務めています

ぶ」ことを先生から学びました。これらのことは今でも私の子育ての基本となっています。

SOに出会ったのは息子が中学の時です。いくつかのプログラムを体験しフロアホッケーにたどり着きました。

フロアを始めて7年目の今年、ナショナルゲームで悲願の日本一になりました。日本一が決定した瞬間、息子も泣いていました。有森理事長がかつて「初めて自分で自分を

ほめたい」とおっしゃいましたが、おこがましいですがそんな気持ちだったと思います。

日本一を目標にし、そこに向かって努力し、それを達成しました。コーチから信頼され、自分を信じることができました。夢を持つことすら難しいアスリートたちがその夢を実現したことで、達成感と同時に自己肯定感を持つことができました。息子の人生にとってかけがえのない経験となりました。親は子どもの限界を勝手に決めて、どうせできないと思いがちですが、信じて任せることが子どもの成長に繋がるとコーチとアスリートに教えてもらいました。

そして来年3月、日本選手団の一員として世界大会に派遣されることになりました。きっとたくさんものを吸収し成長して帰ってくることでしょ。

母になって21年。息子のお陰で出会えた方や様々な経験を通して、私の価値観も人生観も大きく変わり、私自身も成長することができました。これからも息子が豊かな人生を送れるよう、自分に自信を持たせ、尊重し、サポートしていきたいと思つています。

最後に、拓哉、世界大会に連れてってくださりありがとうございます。大好きだよ。

今  
後  
の  
予  
定

3/5(日)

～あつまれバスケット好き～  
SONT Support Basketball Tournament 2017

3/11(土)

SON・東京2017年度定期総会 & 世界大会壮行会

事務局からのお知らせ

事務局は2016年12月29日(木)から  
2017年1月4日(水)まで年末年始休暇をいただきます。



2015-2016  
日本カー・オブ・ザ・イヤー  
特別賞

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会主催

日本の輸入車市場発展に対する長年の貢献が評価され、ヤナセは企業として、  
2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー 実行委員会特別賞を受賞いたしました。

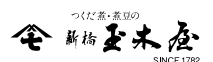
クルマはつくらない。

クルマのある人生をつくっている。



株式会社ヤナセ www.yanase.co.jp

SON・東京オフィシャルスポンサー



SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.70  
発行所: 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3丁目1番17号  
ヴェルドゥーラ祖師谷102号室  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会  
編集元: 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京  
編集人: 岡松武司  
編集スタッフ: SON・東京広報委員会 / 石橋泰介(デザイン)  
定 価: 100円(代金は会費に含まれています)



認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京  
〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20  
東京YMCA東陽町センター内  
TEL: 03-3615-5569 FAX: 03-3615-5581  
E-mail: office@son-tokyo.or.jp  
web: http://www.son-tokyo.or.jp  
Facebook: www.facebook.com/specialolympicsnippontokyo

Update

登録アスリート数: 1,652名  
正会員数: 1,038名  
(2016年11月26日現在)